

第9回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム (県西地域フォーラム)

入場無料

酒匂川流域から見た水源環境保全・再生について

神奈川県では、県民の皆様にご負担いただいた個人県民税の超過課税を財源として、水源環境の保全・再生に取り組んでいます。

この取組に県民の皆様の意見を反映させていくため、地域別にフォーラムを開催し、事例発表や意見交換を行っています。

県西地域フォーラムでは、これまでの事業実績をご報告するとともに、酒匂川流域で活動する団体等の取組を紹介し、今後の施策のあり方について、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

○日 時 平成22年7月29日(木)
18時30分～20時30分(18時開場)

○場 所 小田原市生涯学習センターけやき2階ホール
住所：小田原市荻窪300 小田原市役所敷地内
交通：小田急線・JR東海道本線小田原駅下車
【徒歩の場合】西口から約15分
【バスの場合】西口から久野車庫・兎河原循環方面
(2番のりば)市役所前下車約1分

○主 催 水源環境保全・再生かながわ県民会議

○定 員 先着250名(当日受付)

○内 容

- 1 開会あいさつ
- 2 水源環境保全・再生事業の実績報告(神奈川県 環境農政局 水・緑部 水源環境保全課)
- 3 県民会議意見書について(県民会議委員)
- 4 パネルディスカッション
コーディネーター：浅枝 隆 (埼玉大学大学院理工学研究科教授・県民会議委員)
パネリスト：加藤 憲一 (小田原市長)
 // ：小山田大和 (酒匂川を伝える会代表)
 // ：稲葉 定義 (特定非営利活動法人しのくぼ専務理事)

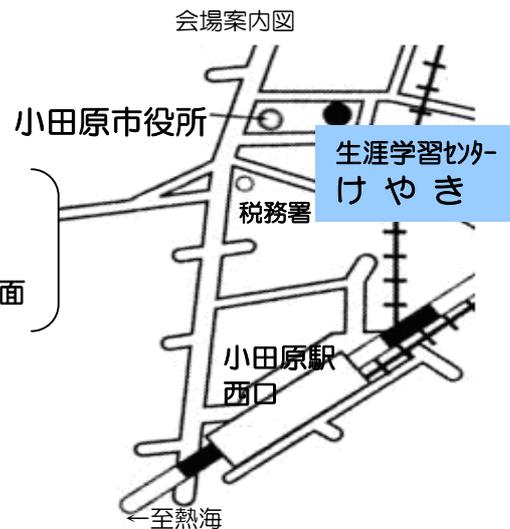
パネルディスカッションでは、皆様からの御意見をお待ちしています！

※ 会場では手話同時通訳を行います

【問い合わせ先】

事務局(神奈川県 環境農政局 水・緑部 水源環境保全課)
住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話 045(210)4352 FAX 045(210)8849

水源環境保全・再生
イメージキャラクター
しずくちゃん



出演者を紹介します



★コーディネーター★

埼玉大学大学院理工学研究科教授 あさえだ たかし
浅枝 隆

埼玉大学大学院理工学研究科教授。工学博士。東京大学工学部助教授、埼玉大学工学部助教授などを経て2000年より現職。「水源環境保全・再生かながわ県民会議」において施策調査専門委員会委員を務める。専門は応用生態工学、環境水理学。現在の研究分野は、河川や湖沼の生態に関する研究。砂州の草本化や樹林化の機構の解明、大型水生植物や付着藻の生長と分解過程、物質循環への役割、河川上流部の有機物収支、動植物プランクトンや魚等の生態解析に従事。

★パネリスト★

小田原市長 かとう けんいち
加藤 憲一

1964年小田原生まれ。京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、漁業、商業ビル企画管理、地域シンクタンク代表などを経て、2008年5月より第20代小田原市長。

酒匂川を伝える会代表 おやまだ やまと
小山田 大和

県が事務局の「酒匂川流域の交流ネットワーク会議」（2009年3月解散）に2001年、学生時から参加。街づくり提言を手掛けると同時に『酒匂川を見つめなおしてみませんか』を執筆し小学校等で出前授業等を行う。その後、「酒匂川を伝える会」を創設し、堤防の清掃草刈り活動や、開成町にある「酒匂川ふれあい館」の土曜日開館等を手掛ける。あわせて市民活動補助金を得て新冊子を制作。流域の地域資源の普及に努める。2009年には住民有志により設立された「酒匂川ネットワーク会議」に参加・活動中。現在、郵便局株式会社平塚郵便局勤務。30歳。

特定非営利活動法人しのくぼ専務理事 いなば さだよし
稲葉 定義

神奈川県庁勤務時代、酒匂川水系の三保ダム、相模川水系の宮ヶ瀬ダム事業等に従事。2005年に「特定非営利活動法人（NPO）しのくぼ」を10名の仲間とともに設立し、中山間地域の自然環境の保全・生活環境の保全に関する活動を行う。2008年度より神奈川県水源環境保全・再生事業に参加。

（敬称略）

第10回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
(山梨県フォーラム) 企画書 (案)

1 目的

桂川・相模川流域の環境保全を図るため、流域を形成する神奈川県と山梨県での取組を紹介し、両県民による意見交換などを行い、これからの両県での水源環境保全を推進する。

2 テーマ

桂川の水が神奈川県民の飲み水であることをご存知ですか？
～桂川・相模川流域の環境保全に向けて、今、何が求められているかを考える～

3 日時

平成22年9月4日(土) 13:30～15:30

4 場所

大月市民会館 3階 講堂
住所：山梨県大月市御太刀2-11-22 電話：0554-22-4811

5 主催

水源環境保全・再生かながわ県民会議

6 定員

200名(当日受付)

7 構成

時 間	内 容	担 当
13:30	開会 主催者あいさつ(5分)	司会：県民会議フォーラムチーム 新堀副座長(水源環境保全・再生かながわ県民会議)
13:35	山梨県の取組の説明(森林・生活排水)(10分)	山梨県職員
13:45	神奈川県の水源環境保全・再生施策の紹介 両県共同調査の報告(15分)	神奈川県水源環境保全課
14:00	相模湖・津久井湖の現状報告(10分)	神奈川県流域海岸企画課
14:10	休憩(ディスカッション準備)(5分)	
14:15	パネルディスカッション(75分) 「県民参加による県境を越えた流域環境保全」 質問等	コーディネーター：木平委員(水源環境保全・再生かながわ県民会議) パネリスト：河西 悦子 氏(桂川・相模川流域協議会代表幹事) ：中村 文明 氏(多摩川源流研究所所長) ：田所 正晴 氏(環境科学センター専門研究員)
15:30	閉会	司会：県民会議フォーラムチーム

※ペットボトル水「森の恵み 神奈川の水」をPRのため配布する予定